



■小石原焼
主要産地：福岡県朝倉郡小石原村。
十七世紀後半にはじまる。豊かな土を利用して大型のため類を焼いたのが起源で、現在も水がめや鐵などの飲食器、花器、茶器の日用陶器を生産する。ロクロ成形、加飾として飛びかんな、はげ目、流し掛けなどの技法を承っている。素焼を行わずに釉薬を掛けるのが特徴である。

■博多人形
主要産地：福岡県福岡市ほか。
十七世紀はじめ黒田長政の福岡城築城に際して瓦盆を使つて作つたのが起源と伝えられており、それが人形の原型となる。

津瀬の音が耳につく。多宝塔のある寺や、つり橋がある。寺域一帯をカエデの花樹が包んでいるため

年輪とともに技術向上

装飾に写実性加えて

■本場大島紬
主要産地：鹿児島県内。
江戸時代にひるる普及する。博多人形の名は明治の中頃、大阪で

香に暗越える節句かな」がある。

伊賀上野から西郷最後の旅になつただけに句は有名である。この句碑、じつは代目で、初代は

枚岡駅下車、枚岡神社境内をか

すめて擦流沿いにのぼる。300

歩も行く、ちょうど裏穴のよ

分足らずである。

枚岡駅クリエーション・ハウス

この寺の前に西郷の句碑（菊の

香に暗越える節句かな）がある。

伊賀上野から西郷最後の旅になつただけに句は有名である。この句碑、じつは代目で、初代は

枚岡駅下車、枚岡神社境内をか

すめて擦流沿いにのぼる。300

歩も行く、ちょうど裏穴のよ

分足らずである。

枚岡駅クリエーション・ハウス

香に暗越える節句かな」がある。

伊賀上野から西郷最後の旅になつただけに句は有名である。この句碑、じつは代目で、初代は

枚岡駅下車、枚岡神社境内をか

すめて擦流沿いにのぼる。300

歩も行く